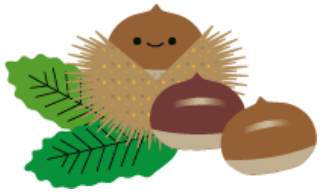
竹原市シルバー人材センターだより９月号

★現在募集中の就業情報★



1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 高齢者施設の下膳･シーツ交換･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)･･･夕方 3H
5. 高齢者施設の下膳･シーツ交換･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)･･･朝 2H
6. デイサービス送迎･･･朝･夕方

事務局からのお知らせ

◎ ９月分の配分金の振込みは、１０月１７日(火曜日)になります。

◎ 固定電話の停止・廃止など変更があった場合は、事務所に連絡をお願いします。

★２０２４年度版の会員手帳の予約の受付をしています。

申し込みは、１０月末 までです。事務所までご連絡ください。☎２２－３３３１

会員手帳として、見やすく、使いやすく、

そしてお求めやすい価格で提供しています。価格は、１冊 ２５０円です。

″ プラス１０分 ″ 歩いてうきうき

１日何歩、歩いていますか？

日本人の１日あたりの平均歩数は、男性が６７９３歩、女性が５８３２歩です。

年齢によりますが、健康のためには１日５０００～１万歩くらいが目標です。

急に増やすと体を痛める原因に。「今より１０００歩増やす＝プラス１０分」から始めましょう。慣れてきたらまた１０００歩増やして。

歩くとこんないいこと ♪

- 気分スッキリ･････････一定のリズムで体を動かすことにより、気分をスッキリさせるセロトニンという神経物質が分泌されやすくなります。
- 肩こりや腰痛をやわらげる･･････正しいフォームで歩くと、筋肉のこわばりやゆがみが改善され、血流がよくなってコリや痛みが軽減します。
- 心配機能を高める････脈拍が上がり呼吸が早まることで、心臓や肺の機能がアップ。少し早めに歩く速歩を取り入れると、さらに効果的。
- 骨密度の低下を防ぐ･･１５分くらい日に当たりながら歩けば、体内でのビタミンＤ生成を促すとともに、骨を適度に刺激して骨粗しょう症を予防。
- 脳を活性化する･････目や耳から入る情報を受けたり、足からの刺激を受けて脳内の血流が良くなり、脳の活性化につながります

	3	2			5		9	1
		5						6
			1		3			
	8	6		4		5		
3								8
		9		7		2	6	
			4		7			
7						6		
9	5		2			1	8	

					7			
		3				6	2	
	9			2			8	
					8			9
		8			2			6
5			1	7	9		4	3
	8						1	4
	7	1			3	9	6	
			2	4	1	7		

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～E をつなげてできる言葉は？

1 B	2	3		4	5
6		D	7		
		8		9	E
	10		11		
12		13		14	15 C
16			A		

A	B	C	D	E

10 月 23 日 以降にご持参ください。
提出･受取りは会員さん本人に限ります

名　前

タテのカギ

1. 何か事が起こりそうだと前もって感じること
2. 日本では梅雨や秋の長雨の時季のこと
3. 細かい仕事をうまく処理すること
5. ワインの瓶の栓に使われている
7. パン生地やお菓子の生地を伸ばすとき粘着しないようにふりかける粉
9. 沢山ありすぎて数えきれないことを「〇〇〇〇にいとまが無い」という
10. 実るほど頭を垂れる〇〇〇かな
12. タラバ、ズワイといえば･･･
13. ヒーターやこたつなどで身体を温めることを「〇〇を取る」という
15. 植物の根、葉と並ぶ基本的な器官

ヨコのカギ

1. 心が晴れ晴れしいこと。朗らかなこと。「〇〇〇な人柄」
4. お酒が飲めない人のこと
6. 中国本土から海外に移住した中国人とその子孫のこと
8. 外からは見えない内部の事情
11. 端午の節句ののぼりとなる魚
12. メープルシロップで有名な国
14. パスポートの表紙の紋章になっている花
16. 古事記と並び現存する最も古い史書の一つ

№１９６　　２０２３年９月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

今月の事故

１．事故の概要（就業中）

屋根の塗装作業中、当日は猛暑であったため休憩していたところ、足場が外れ掛かっている箇所があり、それを確認していたところ、１段目から過って1.8m下の地面に頭を強打したと思われる。休憩中であったため、保護帽（ヘルメット）を着用していなかった。

２．事故の原因

保護帽（ヘルメット）を被っていなかった。また、墜落制止用器具（安全帯）も装着していなかった。

３．事故後のセンターの対応及び再発防止策

【センター】

・理事及び安全委員に状況説明を実施。
・理事会、安全委員会及び安全パトロールを開催予定。
・全会員に「死亡事故に伴う安全就業の徹底について」、「安全就業基準」「安全就業基準を補完するための内規」及び「事故発生時の対応と連絡先」の文書を配付し、事故防止のチェックと事故が起きた時に適切な対応をするよう周知徹底を行った。

【連合本部】

足場等の高さ制限の基準を早急に見直し、安全が確保できない場合には請け負わないよう指導した。

高所作業時は、保護帽（ヘルメット）着用と墜落制止用具（安全帯）の装着を徹底するよう指示した。

４．全シ協から

今月の事故は、休憩中であったため保護帽（ヘルメット）を被っていなかったこと、墜落制止用器具（安全帯）を装着していなかったことで起きてしまいました。

どんなときも、特に地上から少しでも離れる就業の場合は必ず保護帽（ヘルメット）を被るのは、必須です。また、脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止用器具（安全帯）の装着も必須です。

墜落制止用器具（安全帯）の装着が難しい場合や地面同様の環境が確保できないのであれば、請け負うことはしないでください。また、保護帽（ヘルメット）を被らない場合は、就業させない強い対応をお願いします。

会員さんの高齢化が進んでいる中、除草、剪定作業などは、リスクが大きい就業になってきています。センターが今まで以上に仕事を精査し、会員さんに提供することをお願いいたします。

令和５年８月（令和５年度）事故速報

（1） 重　篤　事　故

８月は、５件の重篤事故の報告がありました。

８月までの累計で比較してみると、令和４年度の８件と比して令和５年度は１３件と５件の増加となっています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和４年度の７件と比較して２件の増加となっており、就業途上については、令和４年度の１件と比較して３件の増加となっています。

８月報告分までの累計

令和５年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳 事故の程度 死亡	内訳 事故の程度 入院	内訳 性別 男性	内訳 性別 女性	令和４年度同月累計	計	事故の程度 死亡	事故の程度 入院	性別 男性	性別 女性
	就業中	9(5)	6(5)	3(0)	8(4)	1(1)	就業中	7	5	2	5	2
	就業途上	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	2(0)	就業途上	1	0	1	1	0
	計	13(5)	9(5)	4(0)	10(4)	3(1)	計	8	5	3	6	2

８月報告分内容　　(　　)は、当月分報告分

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
9	男73歳	就業中（死亡）	構内で通い箱を清掃し、台車で指定場所に運搬し整理する業務を行っていたが作業中に後退してきたフォークリフトが衝突し、後ろ向きに転倒し頭部を強打した。着用していたヘルメットは外れて飛ばされていた。	○	—	—
10	男74歳	就業中（死亡）	施設内の階段踊り場において、就業中、会員が倒れているのを施設職員が発見。頭部及び顔面打撲痕から、転倒が死因との疑い。脳幹部出血にて死亡した。	—	—	—
11	男79歳	就業中（死亡）	屋根の塗装作業で１段目から過って1.8m下の地面に頭を強打した。**休憩前まではヘルメットを着用していたが、落ちた時はしていなかった。**	×	×	—
12	男79歳	就業中（死亡）	5名で草刈作業中、ツツジの根元からスズメバチの大群が飛び立ち当該会員の左手甲を刺した。持参していた「蜂撃退スプレーを噴射したが、大群であったため、一旦避難した。救急車を呼ぼうとしたが、何回も刺されているから大丈夫ということで見守ったが、10分ほどたってから顔色が悪くなり救急車を呼んだがアナフィラキシーショックで死亡した。	○	—	—
13	女76歳	就業中（死亡）	清掃作業中、階段を踏み外したらしく、頭部から出血。脳内出血のため緊急手術をしたが出血多量で死亡した。	—	—	—

◆令和４年度損害賠償責任保険事故に係る調査の集計結果◆

先般、「令和４年度損害賠償責任保険事故に係る調査について」（令和５年６月２８日付　５全シ協発第６３号）により、令和４年度に保険給付があった損害賠償金額が１件あたり２０万円以上の事故調査依頼をお願いし、集計結果がまとまりましたので情報提供いたします。

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

令和４年度損害賠償責任保険事故(１件あたり 20 万円以上の事故)の件数は、６４５件と昨年度より３４件の増加となりました。発注者や地域の方々等に損害を与えることは、信頼を損なうばかりでなく、シルバー事業全体の信用にも係わります。傷害事故と同様、事故撲滅に努め安心安全な就業を実現するよう強くお願いいたします。

１　仕事の内容及び事故の型について

毎年多い事故が「除草、除草剤散布、草刈り」が 492 件（76.3%）で、「①飛散させた物で損壊」が 443 件（68.6%）であり大部分を占めています。次いで、刈払い機の刃が配管などに接触し破損させるなどの「②器具・用具を接触させて損壊」が 96 件（14.9%）となっています。

続いて、「植木職、造園師」が 51 件（7.91%）であり、そのうち「②器具・用具を接触させて損壊」が 16 件、「④倒したり、ぶつけたりして損壊」が 14 件となっています。

２　保険金額等について

「20 万円以上 50 万円未満」が 493 件（76.4%）と突出しています。

続いて「50 万円以上 75 万円未満」が 77 件（11.9）となっており、３番目に「75 万円以上 100 万円未満」が 36 件（5.6%）、「100 万円以上 200 万円未満」が 33 件（5.1%）、「200 万円以上 300 万円未満」5 件（0.8%）となっています。「300 万円以上」の事故については 1 件（0.2%）となり、昨年度の 4 件より 4 件の減少となっています。

３　事故の発生原因

主なものを記載すると以下のとおりです。

① 飛散防止ネットの未設置（発生原因の７割）
② 飛散防止ネットを使用していたが隙間をすり抜けて小石が飛び抜けた。
③ 飛散防止ネットの高さ不足と、刈払機とネットの距離が離れ過ぎていた。
④ 就業場所の周囲の状況の確認不足。（地表などにケーブル、配管などないかの確認不足。）
⑤ 基本事項の不徹底、安全意識の欠如
⑥ 発注者との作業前の調整不足。（会員同士の意思疎通不足）
⑦ 道具等を片付けなかった。（置いたカートに車止め未設置）
⑧ 器具の誤使用（技術が未熟であった）

４　事故後の対応

主なものを記載すると以下のとおりです。

① 発注者から報告を受け、本人への聞き取り、発注者への謝罪を行った。
② 職群班の会員を集めて注意喚起を行った。
③ 安全就業委員と除草作業班会員との就業場所の確認
④ 会員に対して就業場所の安全確認や周囲の状況を把握し、安全就業対策を怠らないように周知した。
⑤ 会員に対して、住宅や車両に接近しなければならない作業では、飛散防護ネットを必ず使用し、飛散による事故防止を図るように指導した。
⑥ 飛散防護ネットの使用方法を徹底指導した。

５　再発防止策

主なものを記載すると以下のとおりです。

① 安全就業委員会に事故の報告を行い、委員会で原因究明（検証）し安全就業推進計画を作成した。
② 安全就業研修会・安全講習会を開催した。
③ 安全就業パトロールの実施回数を増やした。
④ 作業前と作業後の現場確認と作業前ミーティングの徹底を図った。
⑤ 作業会員に対して、安全就業基準において飛散防止ネット等を必ず設置することとした。
⑥ 飛び石の少ない道具（低速上下刃逆回転ハサミ刈り草刈刃）の使用の徹底を図る。
⑦ 草を５ｃｍ程度刈り残すこととした。（高刈り）手で刈ること。
⑧ 作業を実施する際には必ず駐車車両を撤去してもらうことを指導しルールを徹底させた。
⑨ 作業前後に安全チェックシートにより確認する。
⑩ ナイロンコードの使用を禁止した。
⑪ 刈払機の作業は、原則２人以上で行う。

６　まとめ（損害賠償責任保険の財政がピンチです。）

損害賠償責任保険の事故は、年々増加しています。毎年度、ほぼ同様の理由で事故が繰り返されています。今年も、作業場所の周囲の状況の確認不足、作業中の不注意が原因となっている場合が多く見受けられました。注意次第で事故の発生を防ぐことができる事故です。事前に就業場所の安全確認や周囲の状況把握を行うことが肝要です。

特に、賠償事故の約７割が除草作業における「飛散させた物で損壊」で、その事故の発生原因の７割が「飛散防止ネットの未設置」との報告でした。

会員さんの中には、「いちいち飛散防止ネットをするのは面倒、なくても大丈夫！」「どうせ保険で対応してくれるから」と思われている方はいませんか？人に当たってしまったら大変のことで、後悔しても間に合いません。このまま賠償保険金の支払いが多額になると保険財政が破綻し、就業自体ができなくなる可能性があります。

必ず、㊟飛散防止ネット等の正しい設置、高刈り（５ｃｍ程度残す）、低速上下刃逆回転ハサミ刈草刈り刃等の使用など各センターで今一度、取組の現状（ルールなど）を再確認し必要な対応をお願いいたします。

また、道具(三脚等)の不安全な設置、器具の誤使用なども原因となっている場合もあります。

作業に慣れてきた会員の不注意による事故も見受けられますので、作業時は十分に注意をしていただきますようお願いします。

使用する器具･道具類の事前の確認と点検も怠らないように日頃から習慣付けてください。

草刈機での飛び石事故が多発しています。
人に当たってしまったら大変です。
必ず飛散防止ネットを正しく設置して作業してくださいね。